

3年ぶり夏休みイベント

この夏、コミュニティセンター湘南で3年ぶりに「夏休みイベント」が行われた。初体験のウクレレを弾いてにっこり、映画会ではディズニー・アニメにうっとり。長いコロナ禍にあっても湘南地区の子どもたちは笑顔を忘れていない。

『ルージュの伝言』弾けた

◆8・7 子どもウクレレ体験 茅ヶ崎にあるライブハウス・スタジオワンの矢口オーナーと音楽仲間の谷川、上田さんが指導。チューニング、指の使い方を教えると「ウクレレは誰でも弾ける。みなさん、きょうは1曲覚えてもらいます」と谷川さん。

小学1年の男の子は父親と一緒に。「お母さんに勧められて」やってきたのは小5、2の兄妹。「家に飾り物となったウクレレがあった。この際、覚えようと思って」という親子など参加動機はさまざまだったが、子どもたち全員が初体験だった。

横浜から茅ヶ崎に引っ越して間もない小3の女の子は、ママと並んで熱心に取り組んだ。その結果、約1時間半後にはこの日の課題曲、ユーミンの『ルージュの伝言』が弾けるようになり「夏休みのいい思い出がで



できました」。

「茅ヶ崎を音楽の街にしたい」思いの矢口さんらが立ち上げたこの企画、実は昨年8月と今年1月にコミセン湘南で開催予定だった。ところがコロナ禍で2度とも中止。3度目の正直、ウクレレ教室を無事終えた



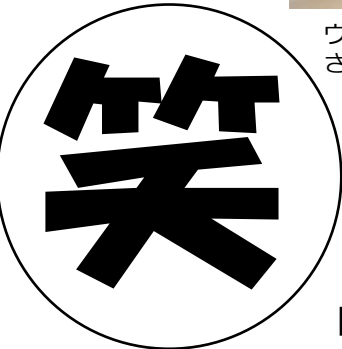
④「ルージュの伝言」をマスターして笑顔の2人⑤積極的にウクレレに挑戦した参加者

「親子パン作り」はコロナ禍で中止 ○…夏休みイベントの最後、8月23日に予定されていた「親子パン作り教室」は直前になって講師の中にコロナ陽性者が出たため中止となった。参加予定者は6組13人。「楽しみにしていたのに残念。次の機会を待ちます」という声もあった。



ウクレレ初体験の母娘を指導する矢口さん⑥

矢口さん、「音楽は親子そろって始めるのが理想。子どもたちみんな覚えが早いし、積極さを感じました」と喜んだ。



好評！「かき氷」サービス

「午前中はサッカー、午後は映画です」。『モアナと伝説の海』は

映画『モアナ』にカンゲキ

◆8・10 夏休み子ども映画会

映画の会場、コミセン湘南大会議室にやってきた柳島小4人組は日に焼けて真っ黒。



ワクワクして上映を待つ親子3人

『アナと雪の女王』と同じディズニーのアニメで、南の小島に住む少女モアナの冒険ファンタジー。テレビとは違う大画面で約1時間半、みんなと一緒に楽しんだ満足感が広がった。今回が2度目の鑑賞という女の子は「大好きな映画。また感動しちゃった」と笑顔で語った。

映画の後はコミセン湘南から夏のおもてなし、かき氷のサービス。子どもも大人も大喜びで「冷たい、おいしい！」。



かき氷を作るコミセン湘南スタッフ

おかわりする男の子もいた。このかき氷大会は、7日の子どもウクレレ体験でも実施された。コミセンでは今後、ポップコーンなどでサービスも計画している。

★トピックスは裏面



楽しさもジャンボ折り紙フラワー



【6月14日 大人の折り紙教室】平成29年に始まったコミセン湘南の人気自主事業。今回は申し込み受け付け初日に定員10人に達したため、会場を大会議室に変更して20人での開催となった。先生役はコミセン湘南女性事務員の5人、作ったのは直径16センチのジャンボフラワー。大、中、小の折り紙（各5枚）で花びらを折り、それを重ねて一輪の花にする。最後に真ん中にめしべを貼り付け完成。妹・めいを誘って初参加の仲さんは「何十年ぶりの折り紙でしたが、自分で納得の出来。とにかく楽しかったあ」。ジャンボフラワーに負けない笑顔が咲いた。

お星さまに届いたボクのおねがい

【7月7日 子育てカンガルー】わくわくらんどでの「七夕さま」に15人の未就園児・保護者。湘南地区以外の萩園、浜須賀から来た人もいた。お気に入りのおもちゃ、すべり台などで思い切り遊んだ全員に、七夕のササ飾りのお土産。3歳の男の子がママに書いてもらった短冊には「プラレールがほしい」。家に持ち帰ったこれを目にしたおばあちゃんが後日、プラレールをプレゼントしてくれたそうだ。また、コミセン湘南では1階ロビーに6月23日から7月7日までササ飾りを展示。こちらの短冊には世界中の願い「コロナが終わりますように」もあった。



秋にも朝市、コミセンまつりとW開催

【7月23日 コミセン湘南朝市】駐車・駐輪場に4張りのテント。タマネギ、トマト、白ナスなどの新鮮野菜、クッキーなどのお菓子や手芸小物も並んだ。昨年6月の1回目朝市の経験を踏まえ準備万端で臨んだのに、新型コロナが第7波に突入、神奈川県の日々の感染者は1万人を超えた。さらに連日の猛暑という悪条件が重なり、来場者は100人に及ばなかったものの、マドレーヌ、玄米焼きおにぎりは完売だった。次回は11月5日、コミセンまつりと同日に行う予定です。なお、出店者のご協力により売上額の一部を茅ヶ崎市社会福祉協議会へ寄付させて頂きました。



奥田流料理の魅力は“繊細な味”

【7月27日 料理講習会】コミセン湘南の長寿自主事業、71回目のメニューは豚テキ、台湾スープ、気まぐれサラダ、ルイボスティールソルベ、ガスパッチョソーメン。講師・奥田さんは飾らぬ人柄で、ときとしてぶっきらぼうな物言いになるが、講習生はたじろがない。奥田さんの魅力は料理人の腕。この会の常連、松野さんと平牧さんは「料理の味はとっても繊細」と声をそろえた。奥田さんの楽しみは、若若時代から見続けてきた大相撲。現在、注目しているのは元大関・朝乃山。1年ぶりの土俵だった名古屋場所三段目優勝すると「完全復活してほしい、絶対するね」。



フォトコーナーで夏の思い出

【わくわくらんど撮影会】8月7～11、23、24日に子どもの家わくわくらんどで実施。フォトコーナーで撮った写真を台紙に貼ってプレゼントした。2人の子どものとやってきた母親は「コロナで外出が減り、3人一緒に写真は貴重なんですよ」、おまけのジュースをもらった子どもたちも「やった～！」と大喜び。昨年春にできたこのコーナー、季節ごとに背景が変わる。これまでのアジサイ、海の中、ハロウィン、クリスマス、お花畑が評判になり、コミセン湘南の人気スポットにもなっている。



【おわび】コミセン湘南瓦版令和4年夏号のマージャンサークル「エアープランツ」の紹介記事の本文中、会話部分で事実ではない箇所がありました。ご迷惑をおかけした関係者におわびします。